

広島県立広島第二中学校原爆慰霊碑

〔地図番号4〕

（通称：広島二中 現在の広島県立広島観音高等学校）

建立年月日

1961（昭和36）年8月6日

建立者

広島県立広島第二中学校戦災死者
遺族委員会

設計者



形状

自然石の表面に、大きく「慰霊碑」、裏面に犠牲となった生徒・職員の名前が刻まれている。（高さ約1m、幅約4m）

建立の目的

戦災並びに原爆の犠牲となった生徒・職員の慰霊、鎮魂のため。

碑文

「戦災並びに原爆にて死没された、元広島二中職員・生徒352名のなつかしい名簿をこの碑の裏面に記し永久の思い出と慰霊のよすがと致したいと思います。（昭和36年8月6日 遺族一同）」

特記事項

1 広島二中の犠牲者

被爆当時、爆心地から600m、中島新町で建物疎開作業に従事していた生徒と教員は本川河岸に整列して訓示中に被爆し、ほとんどが即死、その多くは遺骨の判別も、拾い集めもできない状況でした。

最終的には当日現場にいた1年生321人と教員4人全員が被爆で亡くなりました。

2 慰霊碑横の追悼歌碑

この碑の横に1953（昭和28）年8月6日建立の「追悼歌碑」が建てられています。

「なぐさめの言葉知らねばたゞ泣かむ 汝がおもかげといさをしのびて」（元県立広島二中校長 古田貞衛）